

成果報告会発表

——福島の過去、現在、未来——

双葉D班

大持、森、上本、山崎、中村、梅沢

目次

- いつ、誰が、議論する必要があるのか？
- “自分ごと”として考えてよいのか？
- そもそも何が問題なのか？
- 終わりに

いつ、誰が、議論する必要があるのか？

双葉の復興

<いつ>

- ・いま十分に議論されているのか？これまでは？

<だれが>

- ・「双葉の人」⇒双葉の人とは？今住んでいる人？

当時住んでいた人？地主みたいに数世代にわたって住んでいる人？

- ・今回を通じてかかわった私たちは議論に入っているのか？

発災からずっと関わってきた人は？

いつ、誰が、議論する必要があるのか？

福島第一原発の設置

<いつ>

- ・発電所を建設する前？

<だれが>

- ・エネルギーを使う「われわれ当事者」？⇒われわれ当事者とは？日本人？世界？1Fの場合は東京の住民？
- ・発電所が建設される場所に住む人？

“自分ごと”として考えてよいのか？

福島のこれからについて考えたい ⇔ 自分は**当事者**ではない

・「**当事者**」とは？

- ・双葉町、福島県、日本、世界...見る場所によって変わる
- ・当事者の中でも様々な意見がある

“自分ごと”として考えてよいのか？

・「場所」

- ・私は福島の良い話題を聞くと嬉しくなる←当事者意識の表れ？
- ・自分は外部の人間なのではないか
→“内”と“外”からの視点

・「時間軸」

- ・原発建設の決定は「過去」の話
→原発の恩恵を受けている「今」の私たちに責任はないのか？

そもそも何が問題なのか？



そもそも何が問題なのか？

・原発を使用したこと事態が間違っていた？

→その分のエネルギーは、

- ・化石燃料：地球温暖化、資源の埋蔵量

- ・再生可能エネルギー：供給が不安定 という課題がある。

・だからといって原発事故のリスクを許容していいのか？

- ・リスクを許容しないと発展しないのではないか。

→便利さを手放せばいいのか。発展しなければいいのか。発展とは？

おわりに

原発設置による便利さ ↔ 事故による被害

× 原発をなくせば解決する

・原発によってもたらされた「幸せ」

- ・出稼ぎに行かずに済んで、家族と一緒にいられる
- ・きれいな服を買える
- ・高度経済成長におけるエネルギー不足が解消する
- ・地域で雇用が創出され、持続可能になる

→ リスクを負ってまでこれらの「幸せ」を追求するべきか？